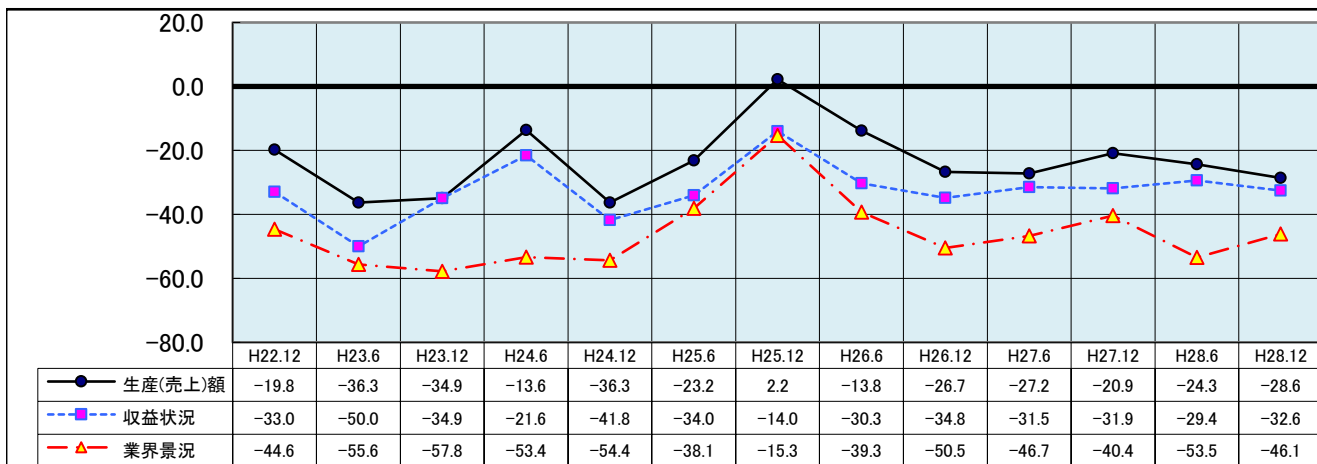


【総合】

< 配布 224企業 回収93企業 回答率 41.5% >

生産・売上額	今回調査	前回調査	前年12月	収益状況	今回調査	前回調査	前年12月	業界景況	今回調査	前回調査	前年12月
	-28.6	-24.3	-20.9		-32.6	-29.4	-31.9		-46.1	-53.5	-40.4
	比較	-4.3	-7.7		比較	-3.2	-0.7		比較	7.4	-5.7

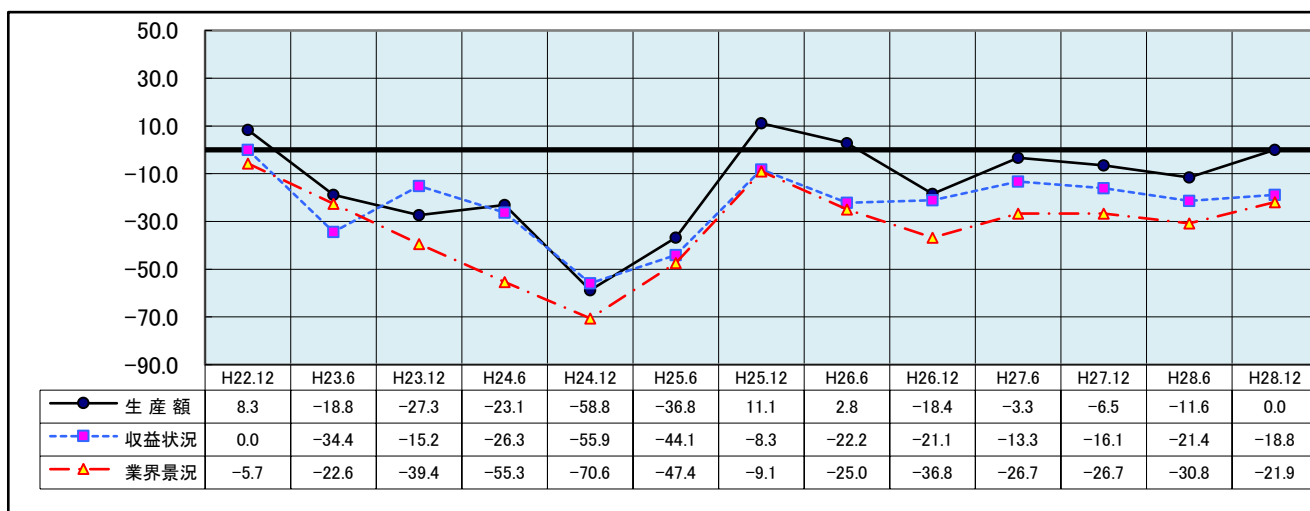


東北管内及び県内の経済情勢は、景気が回復しつつあるとの報道がされているが、本市の景気動向は、生産(売上)額、収益状況、業界景況ともやや下降・下降傾向にあり、依然として厳しい状況が続いている。

【製造業】

< 配布 80企業 回収 33企業 回答率 41.3% >

生産額	今回調査	前回調査	前年12月	収益状況	今回調査	前回調査	前年12月	業界景況	今回調査	前回調査	前年12月
	0.0	-11.6	-6.5		-18.8	-21.4	-16.1		-21.9	-30.8	-26.7
	比較	11.6	6.5		比較	2.6	-2.7		比較	8.9	4.8



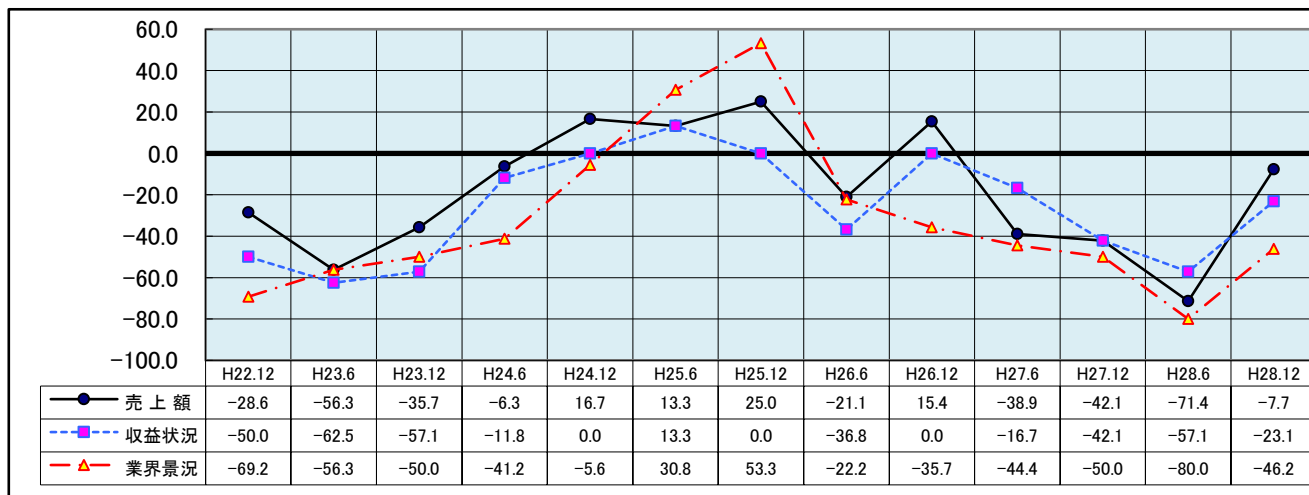
全体的に前回調査よりは改善傾向にあり、特に生産額については増加が10社 (31.2%)、同じが12社 (37.5%)、減少が10社 (31.2%) とH26.6月期以来、マイナスの指標を脱している。

また、他の指標も改善傾向にはあるが、3ヶ月先の予測では生産額・収益状況・業界景況とも、依然マイナスの状況で景気は足踏み状態が続いている。

## 【建設業】

< 配布 40企業 回収 13企業 回答率 32.5% >

売上額	今回調査	前回調査	前年12月	収益状況	今回調査	前回調査	前年12月	業界景況	今回調査	前回調査	前年12月
	-7.7	-71.4	-42.1		-23.1	-57.1	-42.1		-46.2	-80.0	-50.0
	比較	63.7	34.4		比較	34.0	19.0		比較	33.8	3.8

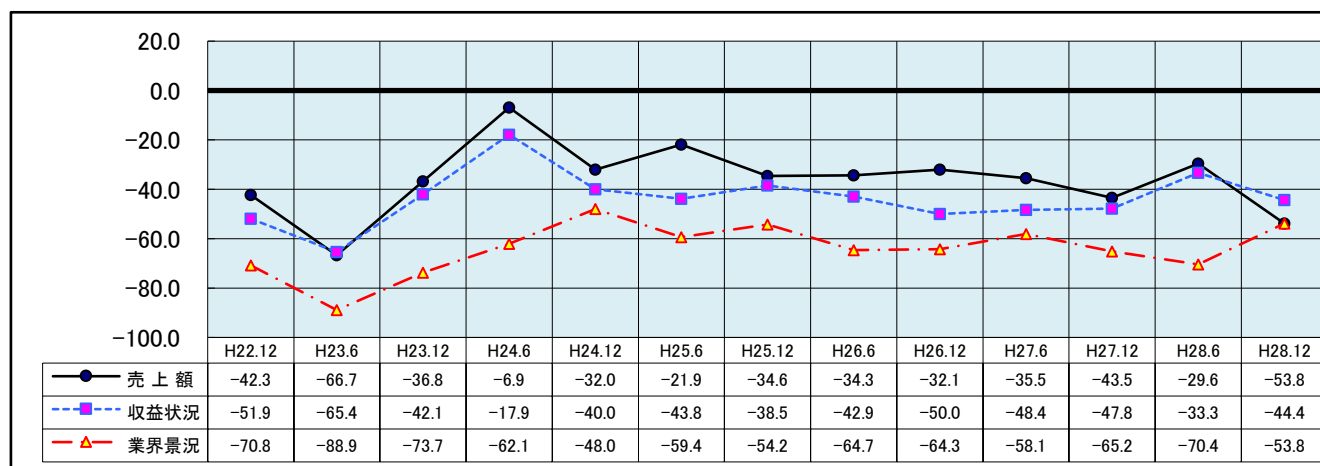


回答内容の中で、売上額増加が3社（25%）、同じが5社（41.6%）、減少が4社（33.3%）となっており前回より回復基調にある。しかしながら、資材単価の高騰等により収益・資金繰りが厳しい状況にあり、業界景況は下降傾向が続いている。

## 【小売業】

< 配布 65企業 回収 27企業 回答率 41.5% >

売上額	今回調査	前回調査	前年12月	収益状況	今回調査	前回調査	前年12月	業界景況	今回調査	前回調査	前年12月
	-53.8	-29.6	-43.5		-44.4	-33.3	-47.8		-53.8	-70.4	-65.2
	比較	-24.2	-10.3		比較	-11.1	3.4		比較	16.6	11.4

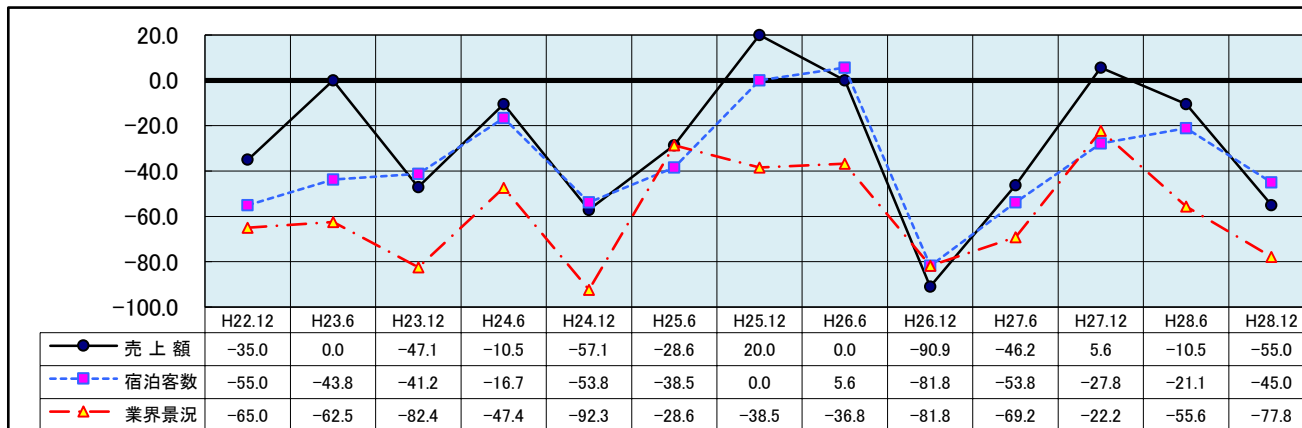


回答内容の中で、売上額増加が1社に留まるなど、すべての部門で下降局面は続いている。県内景況で個人消費は持ち直しているとの報道もあるが、市内外の大型量販店やコンビニエンスストアの方に客足が流れていることが伺える。

# 【宿泊施設業】

< 配布 39企業 回収 20企業 回答率 51.3% >

売上額	今回調査	前回調査	前年12月	宿泊客数	今回調査	前回調査	前年12月	業界景況	今回調査	前回調査	前年12月
	-55.0	-10.5	5.6		-45.0	-21.1	-27.8		-77.8	-55.6	-22.2
	比較	-44.5	-60.6		比較	-23.9	-17.2		比較	-22.2	-55.6



売上額・宿泊客数・業界景況等のほとんどで下降局面の回答となり、厳しい状況は続いている。（調査時点での雪不足も影響しているようである。）

昨年度実施した、プレミアム旅行券（山形日和）の反動も見られ、宿泊客数の減少と宿泊客単価の低下により収益の悪化が懸念される。